

昨年末に松井知事が公明党との「密約」を暴露し、府民に隠れて党利党略に明け暮れる「体質」をさらしました。

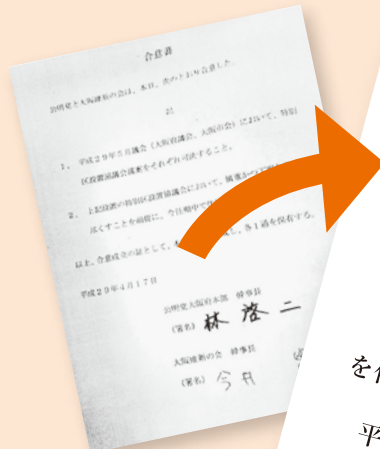
今年に入り、維新が各党間の合意なしに法定協議会を開催強行し「大混乱」です。予算を決める大事な大阪府議会（2月7日）、府議会（2月25日）を前に、不毛の議論をやってる場合でしょうか！



維新・公明の

「密約」って？

維新と公明が、「大阪都」の「住民投票」を実施する約束を交わしたのです。しかも、松井知事は見返りに「特別区」が否決なら公明党が主張する「総合区」に協力するとともに、**住民不在で「大阪市のままでいい」という多数の民意を排除するひどい「密約」**です。



合意書

公明党と大阪維新の会は、本日、次のとおり合意した。

- 1、平成29年5月議会（大阪府議会、大阪府議会）において、特別区設置協議会案をそれぞれ可決すること。
- 2、上記設置の特別区設置協議会において、慎重かつ丁寧な議論を尽くすことを前提に、今任期中で住民投票を実施すること。

以上、合意成立の証として、本書2通を作成し、各1通を保有する。

平成29年4月17日
 公明党大阪府本部 幹事長 林啓二
 大阪維新の会 幹事長 今井豊

怒鳴りあいの会議をしてたけど、なんで？

今年に入り、法定協議会の今井会長（維新）がこれまでのルールである「各党間の合意にもとづく運営」を壊して「会長権限」で会議開催を一方的に強行しました。**ルール違反を批判し「散会を求める動議」が出たのに会長が採決に応じず「大混乱」になったのです。**



MBS放送より

「動議」が出たらそれを先に採決することが議会の常識・ルールです。

「大阪都」でムダは明らか！

最大 637 億円

法定協議会で、議論すればするほど「特別区設置」のコストが膨れ上がり、**庁舎の建設などで最大637億円**。さらに議会の設置経費や人件費増などで50億円～60億円も毎年必要になり、新たな負担増につながり住民サービスを圧迫します。



出直し選挙に道理なし！
「大阪都」は断念を！

維新は「密約」暴露と同時に知事・市長の辞任・選挙を公言しています。災害対策の強化や府民の暮らしにかかる予算を確保することが最優先なのに「政局」騒ぎとはまったくふざけています。大義も道理もない出直しダブル選挙は止め、「大阪都」もきっぱり断念すべきです。